

報道各位

第69回新潟県公民館大会実行委員会

第69回新潟県公民館大会の取材依頼について

7月19日(木)江南区文化会館を会場に、県下の社会教育・公民館関係者が一堂に会し、「第69回新潟県公民館大会」を開催します。

今、置かれている公民館の現状を認識・検証し、これからの公民館の中心的機能をさぐる機会となるよう、今年の大会主題は「公民館 新たな可能性～厳しい現実を受け入れ 新たな可能性を探る～」といたしました。

当日は、同館音楽演劇ホールが満席となる予定です。

社会教育の振興を図るため、報道機関の皆さまから取材いただきますようお願いいたします。

記

- 1 日 時 平成30年7月19日(木)午前10時30分～
- 2 会 場 江南区文化会館音楽演劇ホール
- 3 トークセッション テーマ「公民館の厳しい現実と新たな可能性」
コーディネーター 中島 憲一 氏(元新潟県立生涯学習推進センター所長)
トーク者 郷 扶二子 氏(新潟市坂井輪地区公民館運営審議会委員)
杉山 茂一 氏(新潟市石山地区公民館主査)
- 4 参加者数 430人(予定)
- 5 添付資料 (1)第69回新潟県公民館大会のご案内(開催要項)
(2)＜参考＞第69回新潟県公民館大会紹介(県公民館月報より)

【問い合わせ先】

第69回新潟県公民館大会実行委員会事務局 竹田
(新潟市教育委員会 中央公民館内)
電話 025-224-2088(直通)



新潟市江南区文化会館
アスパーク亀田(亀田総合運動公園)内

詳細図



第69回 新潟県公民館大会のご案内



潟東おまつり広場「どろんこカップ」(新潟市潟東地区公民館)

「公民館 新たな可能性」を大会主題にして、第69回新潟県公民館大会を新潟市開催します。多数の皆さまから参加をいただきますようご案内申し上げます。

平成30年5月

新潟県公民館連合会
会長 浅間直美

- | | |
|-------------|--|
| 1. 期 日 | 平成30年7月19日(木) |
| 2. 会 場 | 新潟市江南区文化会館
新潟市江南区茅野山 アスパーク亀田内 |
| 3. 開 会 | 午前10時30分
開会式/表彰式/トークセッション/事例発表/閉会式 |
| 4. 閉 会 | 午後3時20分 |
| 5. 大会主題 | 公民館 新たな可能性
～厳しい現実を受け入れ 新たな可能性を探る～ |
| 6. トークセッション | 「公民館の厳しい現実と新たな可能性」
中島 憲一(上越市) 郷 扶二子(新潟市) 杉山 茂一(新潟市) |

第69回新潟県公民館大会開催要項

1 大会主題

公民館 新たな可能性
～厳しい現実を受け入れ 新たな可能性を探る～

2 趣 旨

公民館はこれまで地域づくり・人づくりの中核的機関として、地域住民や関係者の熱い努力により支えられ大きな成果を上げてきました。その間、行財政改革や市町村合併などさまざまな動向に大きく影響を受けながらも、各市町村では館ごとの地域性・個性を生かし魅力ある活動実践に努めてきました。

しかしながら、昨今では、公民館数や職員数の減少傾向が続いており、公民館の意義と役割の見直しが求められています。このような中、公民館関係者は「公民館の存在意義」を問い直し、公民館設立の原点に立ち返りながら、今求められている公民館の姿について議論を積み重ねています。

私たちは、地域社会を発展させるためにも、今こそ「学びを通して地域社会をつくる」という認識を強く持ち、多くの関係機関や関係者と連携し協働する中で、公民館がネットワークの起点となり「地域づくり・人づくり」の活動拠点として展開していかなければなりません。

本大会は、今置かれている公民館の現状を認識し、検証し、これからの公民館の中心的機能をさぐる機会となるように構成しました。また、県内市町村の公民館関係者が認識と交流を深め、今後の公民館活動の発展を図るものとします。

3 主 催 新潟県公民館連合会 新潟市教育委員会

4 共 催 新潟県教育委員会

5 後 援 新潟県市長会 新潟県市議会議長会 新潟県町村会 新潟県町村議会議長会
新潟県市町村教育委員会連合会 新潟県社会教育委員連絡協議会 新潟県生涯
学習協会 新潟県スポーツ推進委員協議会 新潟県青少年健全育成県民会議
新潟県婦人連盟 新潟県小学校長会 新潟県中学校長会 新潟県高等学校長協会
新潟県小中学校PTA連合会 新潟県高等学校PTA連合会 あしたの新潟県を
創る運動協会 新潟日報社 **NHK**新潟放送局 **BSN**新潟放送 **IN S T**
TeNYテレビ新潟 **UX**新潟テレビ21

6 日 時 平成30年7月19日(木) 午前10時30分 開会

7 会 場 新潟市江南区文化会館
〒950-0144 新潟市江南区茅野山3丁目1番14号
TEL 025-383-1001

8 参加者 公民館職員 公民館運営審議会委員 公民館活動協力員 社会教育委員
教育委員会事務局職員 社会教育関係施設職員 社会教育団体関係者
その他本研究大会への参加希望者

9 日 程

10:00	10:30	11:00	12:15	13:10	13:30	15:00	15:20
受付	開会式 表彰式	トーク セッション	昼 食	アトラク ション	事例発表	閉会式	

10 トークセッション

テーマ「公民館の厳しい現実と新たな可能性」

コーディネーター 中島 憲一 氏 (上越市)

トーク者1 郷 扶二子 氏 (新潟市)

トーク者2 杉山 茂一 氏 (新潟市)

11 アトラクション

Noism 2 (新潟市を中心に活動している舞踊団)

12 事例発表

- ・上越地区 1件
- ・中越地区 1件
- ・下越地区 1件

13 参加費

- ① 県公民館大会資料代 1,000円
- ② 昼食代(弁当、お茶付) 1,000円

14 申込み

- ① 参加者は所定の形式により、市町村ごとにとりまとめの上、6月25日(月)までに大会事務局アドレスへ、メールで申し込んでください。
参加費は、申込期日までに下記の口座に振り込んでください。

◆銀行名 第四銀行 本店
◆口座番号 普通 5042058
◆名 義 新潟県公民館大会実行委員会 実行委員長 浅間 直美
(ニイガタケンコウミンカンタイカイジッコウイインカイ ジッコウイインチョウ アサマ ナオミ)

- ② 参加費申込み受付後、「大会参加証」「受領証」を一括送付します。
- ③ 申込み責任者は大会当日に「大会参加証」を提示し、大会資料等を受け取っていただきます。
- ④ 参加申込みの取り消しは、7月5日(木)までとし、それ以降は準備の都合上、返金いたしません。ご了承ください。

15 大会事務局 〒951-8055 新潟市中央区礎町通3ノ町2086番地(新潟市中央公民館内)
第69回新潟県公民館大会実行委員会事務局
TEL 025-224-2088 FAX 025-223-4572
E-mail chuo.co@city.niigata.lg.jp

特集

「よひつ」そ県大会・新潟市大会



大会実行委員長
新潟市中央公民館
館長 浅間 直美

第69回新潟県公民館大会が

7月19日(休)に、新潟市江南区文化会館を会場に開催されます。第65回大会に引き続き同会場での開催となります。前



新潟市公民館
新潟市公民館マーク

回の経験を活かして、新潟市公民館職員が総力をあげて、大会の成功に向けて準備を進めています。

1 はじめに

今大会のテーマは「公民館 新たな可能性へ厳しい現実を受け入れ 新たな可能性を探る」です。

昨年好評だった「トークセッション」を今大会テーマに沿って行い、各地区の事例発表を通して、公民館関係職員それぞれが、公民館を取り巻く現状を認識し、これからの公民館活動について考えるきっかけになればと思います。

2 大会スケジュール

- 10:00 受付
- 10:30 開会
- 11:00 トークセッション

テーマ「公民館の厳しい現実と

新たな可能性」

コーディネーター：中島 憲一 氏

(元県立生涯学習推進センター所長)

トーク者1：郷 扶二子 氏

(新潟市坂井輪地区公民館運営審議会委員)



江南区文化会館

3 「トークセッション」

- 15:00 閉会式

新潟市立坂井東小学校地域教育コーディネーター
トーク者2：杉山 茂一 氏

(新潟市石山地区公民館職員)

- 13:10 アトラクション「Noisism」

- 13:30 事例発表

上越地区(上越市)

中越地区(三条市)

下越地区(佐渡市)

コーディネーターには、県立生涯学習推進センター所長、県教育庁上越教育事務所社会教育課長を歴任された中島憲一さん。トーク者には、新潟市坂井輪地区公民館運営審議会委員を永年努められ、学校と地域をつなぐ地域教育コーディネーターの郷扶二子さん、公民館の現場を知り社会教育主事でもある当市石山地区公民館職員の杉山茂一主査と、豊富な経験と実績を基に「公民館の厳しい現実と新たな可能性」について対話をしていただきます。

4 アトラクション

2 Noisism

アトラクションでは、新潟市民芸術文化会館(りゅーとぴあ)専属舞踊団Noisism1の若手研修生カンパニーNoisism2によるスペシャル公演です。世界的に有名な金森稜氏を芸術監督に迎え入れ、新潟市民芸術文化会館(りゅーとぴあ)の劇場専属舞踊団として、2004年4月設立(日本初)したNoisismの附属集団として2009年9月設立。プロをめざす若手の舞踊家が所属しており、監督振付の『砕波(さいは)』を上演します。



新潟市民芸術文化会館(りゅーとぴあ)

5 事例発表

上越・中越・下越の各地区からそれぞれの地区において、特徴ある事業や、これからの公民館に必要な事業など参考事例を発表していただきます。

6 受賞記念品「亀田編」

300年以上前から亀田地域において木綿が生産されていたとあり、かつては、660の業者によって「亀田編」が生産されていましたが、昭和13年に戦争の影響もあり、亀田編の歴史は幕を閉じま



亀田地域の名産品



「亀田編」製品

7 おしまいに

した。しかし、平成17年に資料館に保存されていた資料を基に、伝統の素朴であたたかな風合いと、ながく使い続けることのできる丈夫さとしなやかさを兼ね備えた布として復活しました。今回は、永年勤続者への記念品として贈呈します。また、亀田編や地域の名産品の物販も予定しておりますので、「ご期待ください」。

本大会開催地の新潟市は、2019年1月1日に新潟が世界に開かれた港になって150周年を迎えます。キックオフイベントとして7月14日から「海フェスタにいがた」、「水と土の芸術祭2018」が始まります。

本大会と併せて、みなとまち新潟の魅力もご堪能いただければと思います。



【大会事務局】第69回新潟県公民館大会事務局

〒951-8055

新潟市中央区礎町通3ノ町2086番地

(新潟市中央公民館内)

TEL.. 025-224-2088

FAX.. 025-223-4572

E-mail: chuo.city.niigata.lg.jp